

## WEB マスタの 仮翌期更新



TOP メニューの特殊処理を選び  
会社選択 作業者選択と進めて、上記の  
《特殊処理関係》のメニュー画面を出します。

その中から、Web 翌期更新処理を選びます



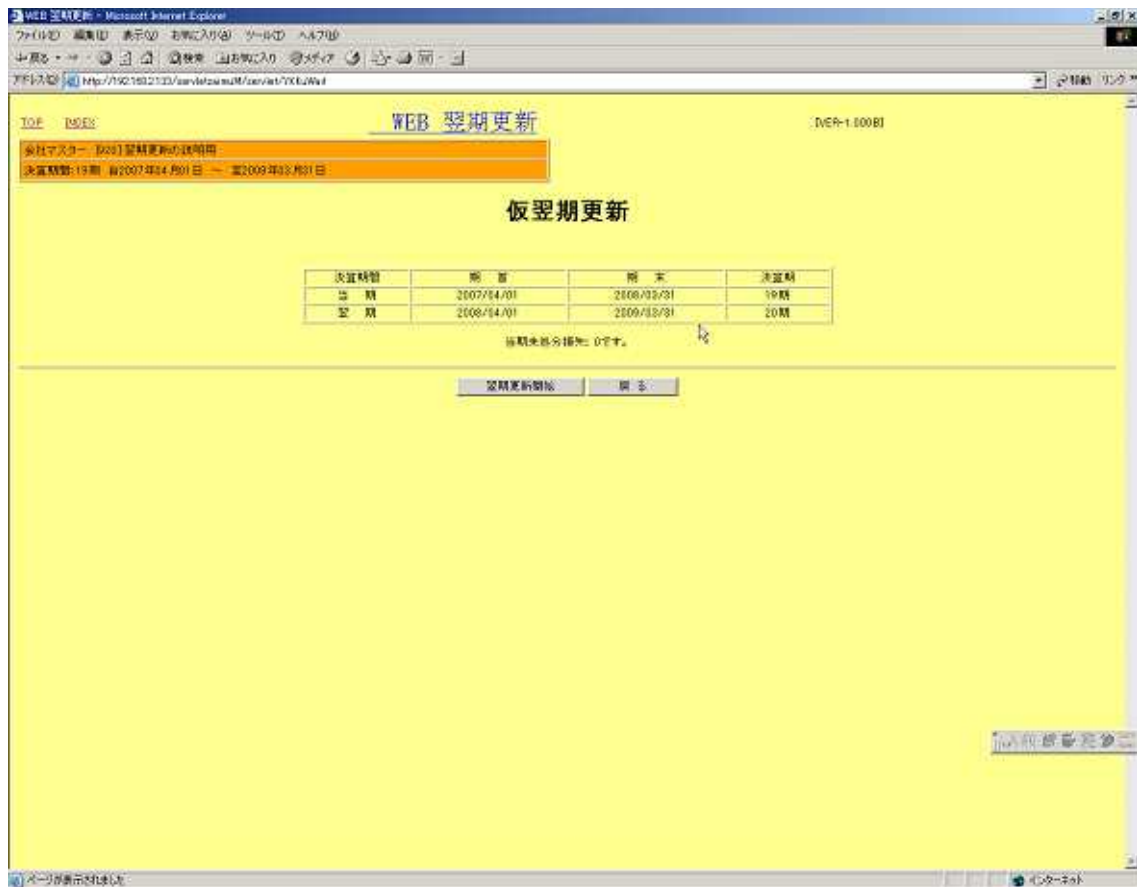
管理者パスワードを入れた後は、上記の画面となります。

ここで、当期および翌期の表示が、思ったような期間や期を示しているかご確認ください

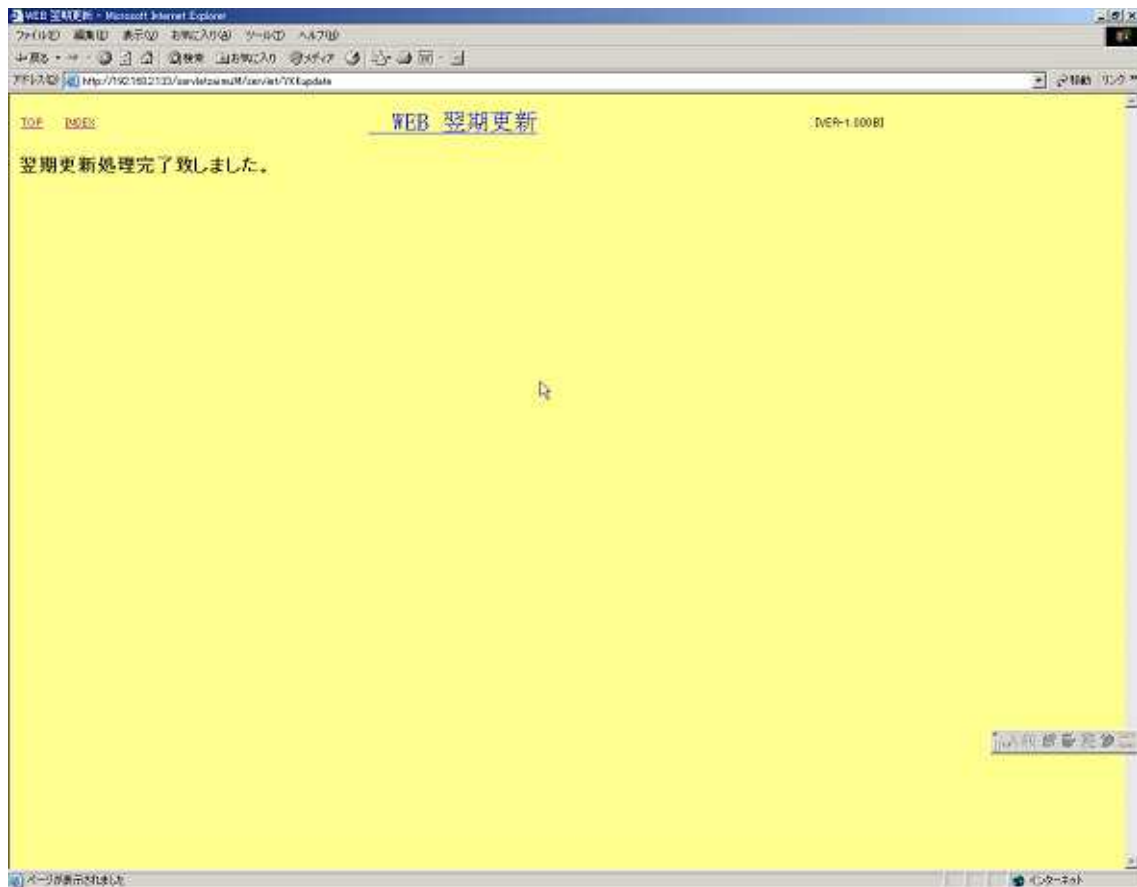
“ 新年度の入力も始めながら、残っている旧年度の入力も行っていきたい ”

という場合には、

仮翌期更新 にチェックをつけてから、〔翌期更新〕を押します

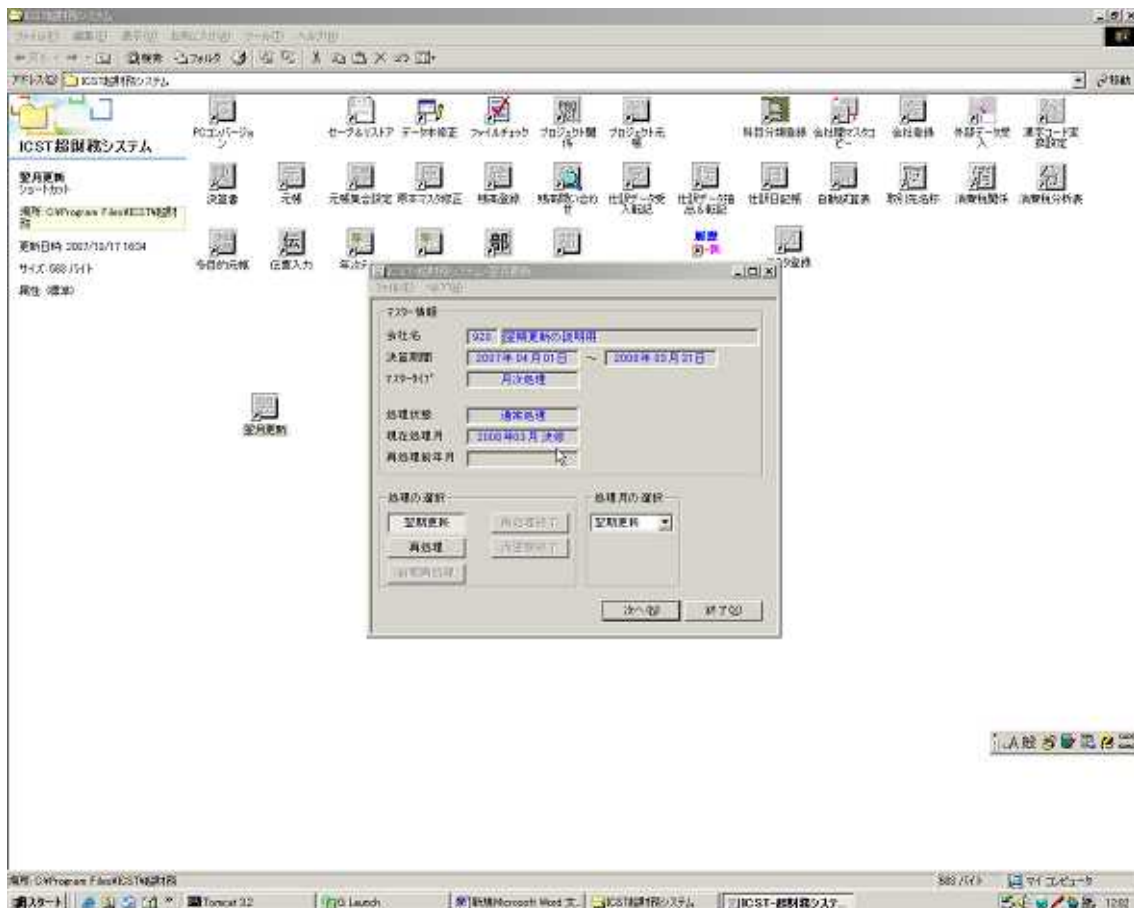


中央に仮翌期更新の表示が出ますので、  
〔 翌期更新開始 〕 を押します



更新が終了した後は、左上にメッセージが出ます。

## 超財務マスタの 仮翌期更新

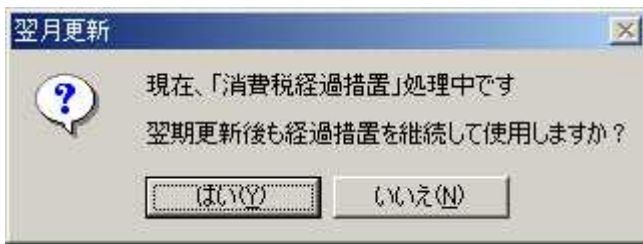


翌月更新 を起動して

処理の選択 が 翌期更新になっていることを確認し、次へ を押します



上側の 仮翌期 を選択したまま、次へ を押します



もしも、これが出たら、いいえ にしてください

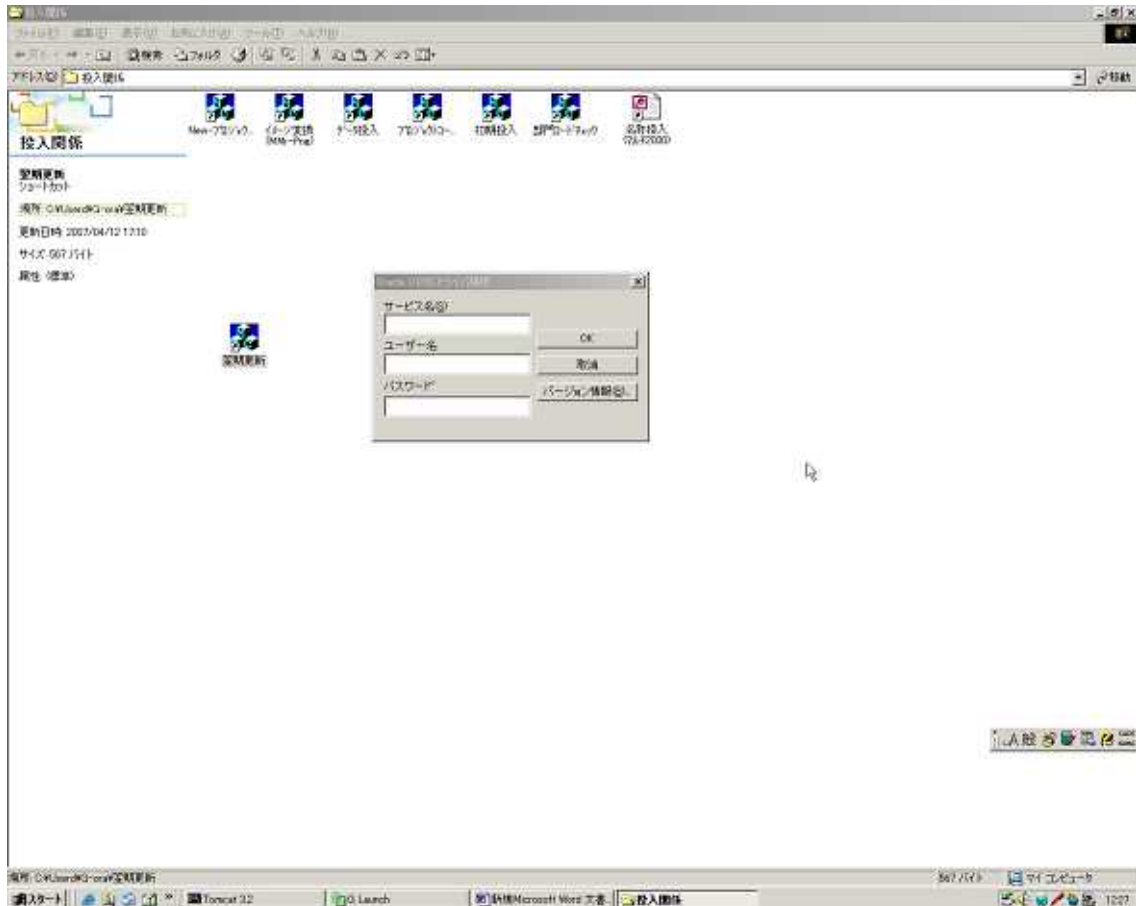


開始を押します

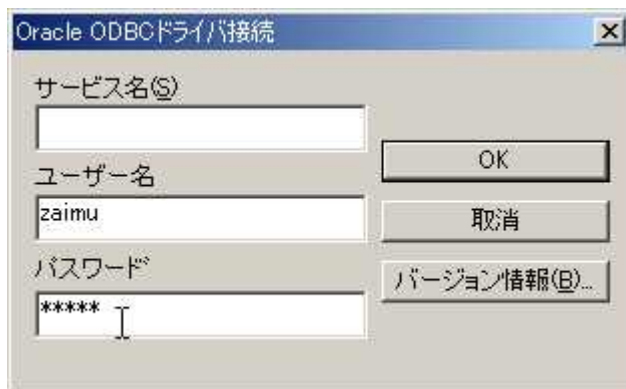
次画面で、「更新終了しました」の表示が出たら、OK を押します

ここまでで、超財務の仮翌期更新は終わりました

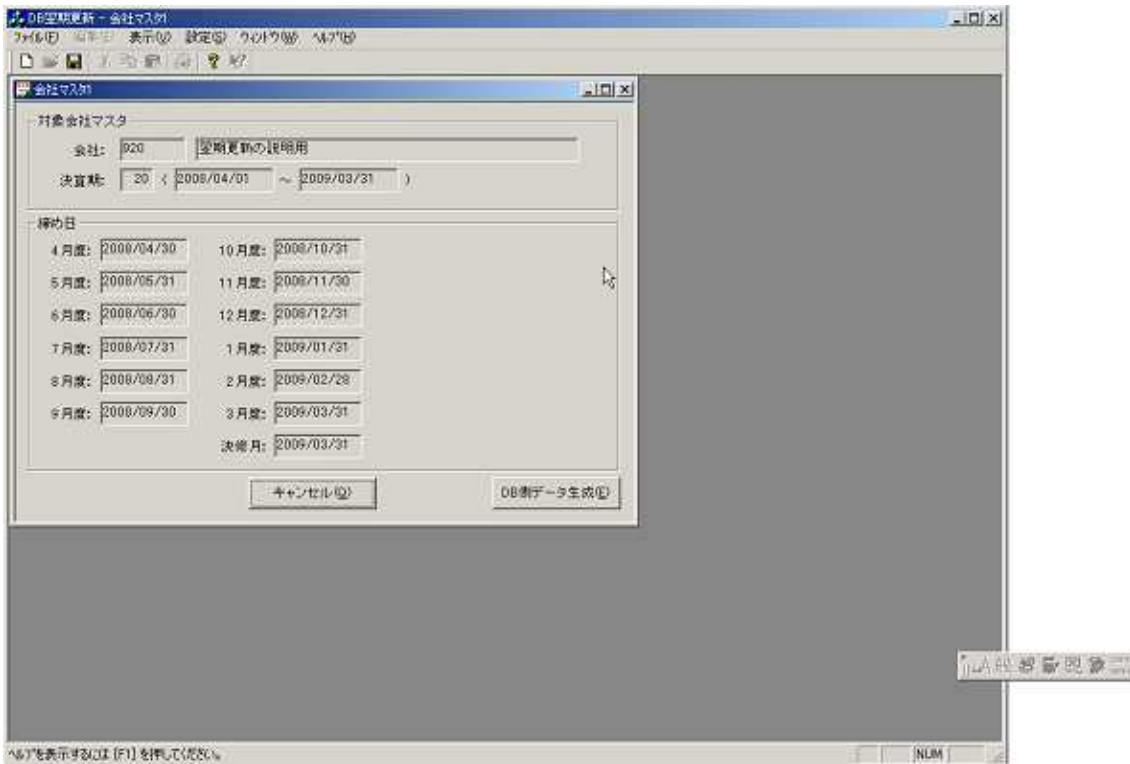
# Oracleデータベースの新年度 生成



デスクトップ画面のフォルダ「投入関係」の中にある 更新更新を起動させ  
OracleODBC ドライバ接続 を出します



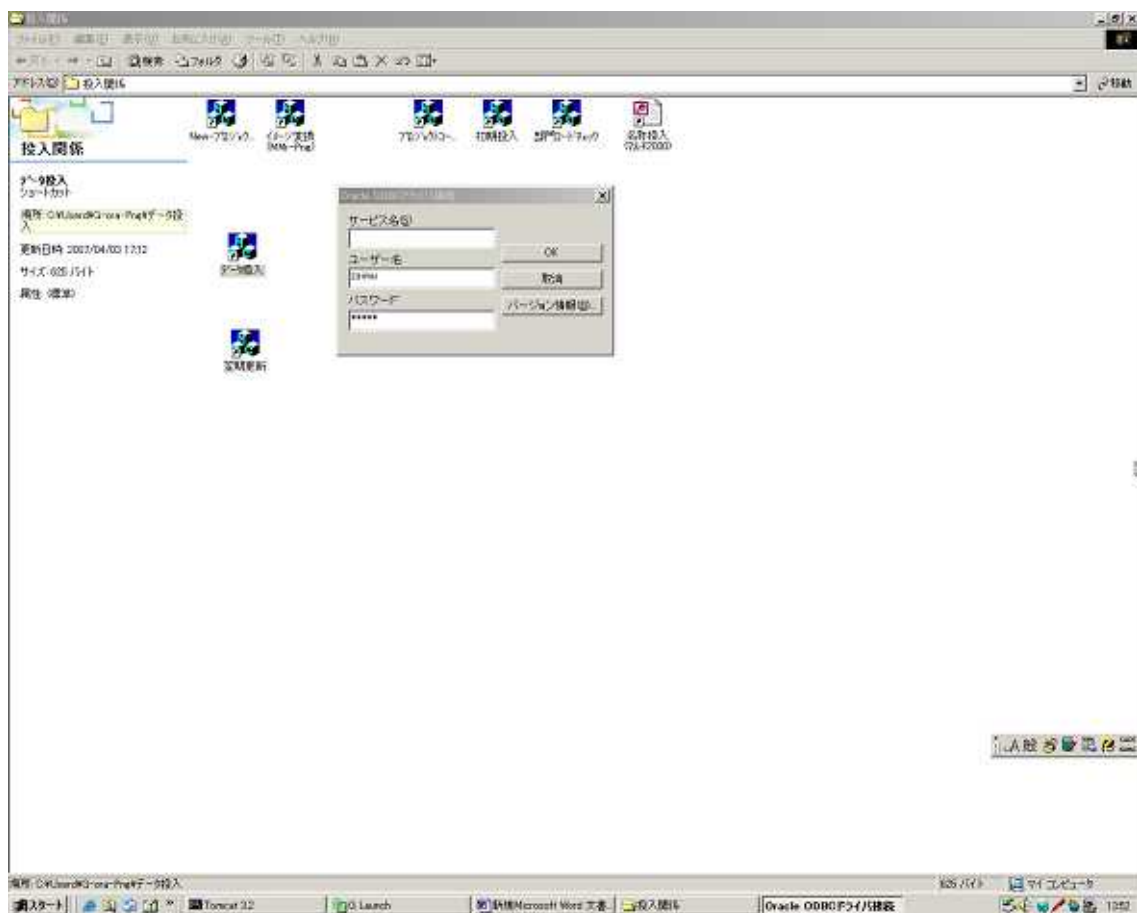
中段のユーザー名に zaimu  
下段のパスワードに zaimu とそれぞれ入力し、OK を押します



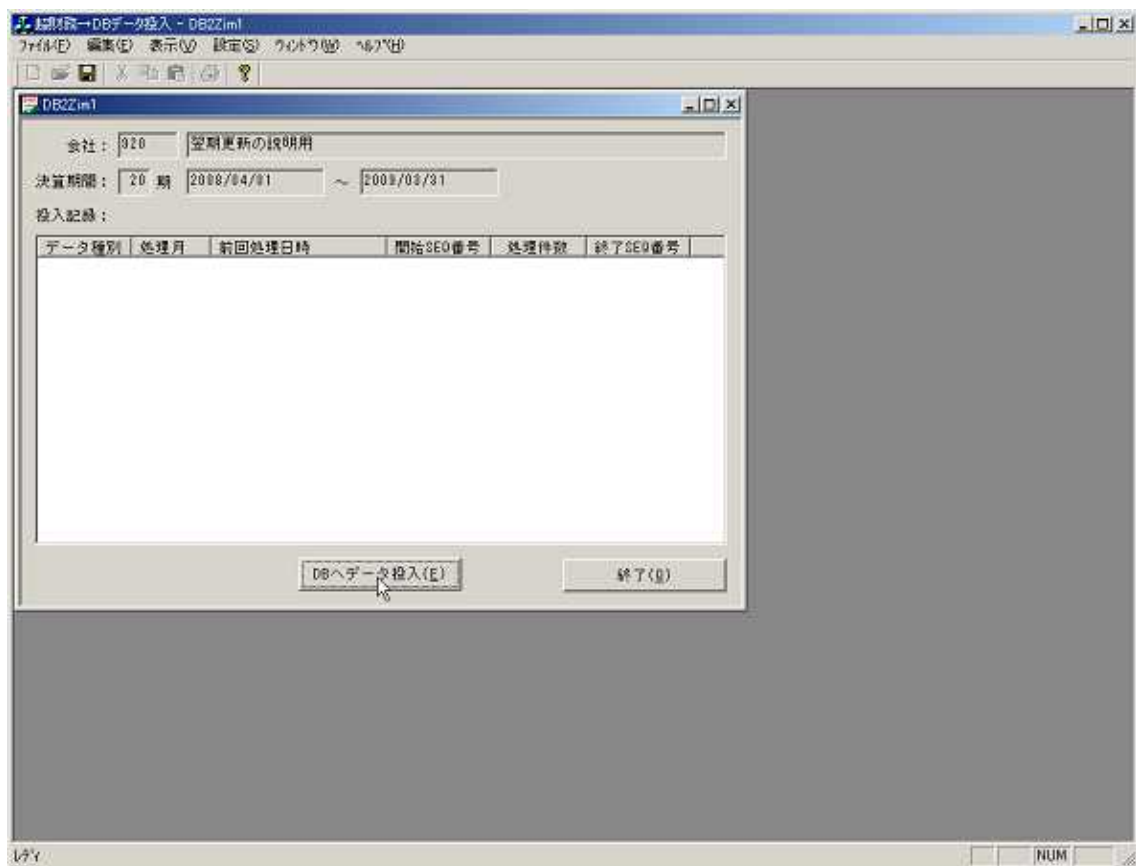
右下の DB側データ生成 を押します  
その後に、表示されるものについては  
全て、「はい」や「OK」で応答してください。

自動的に終了します

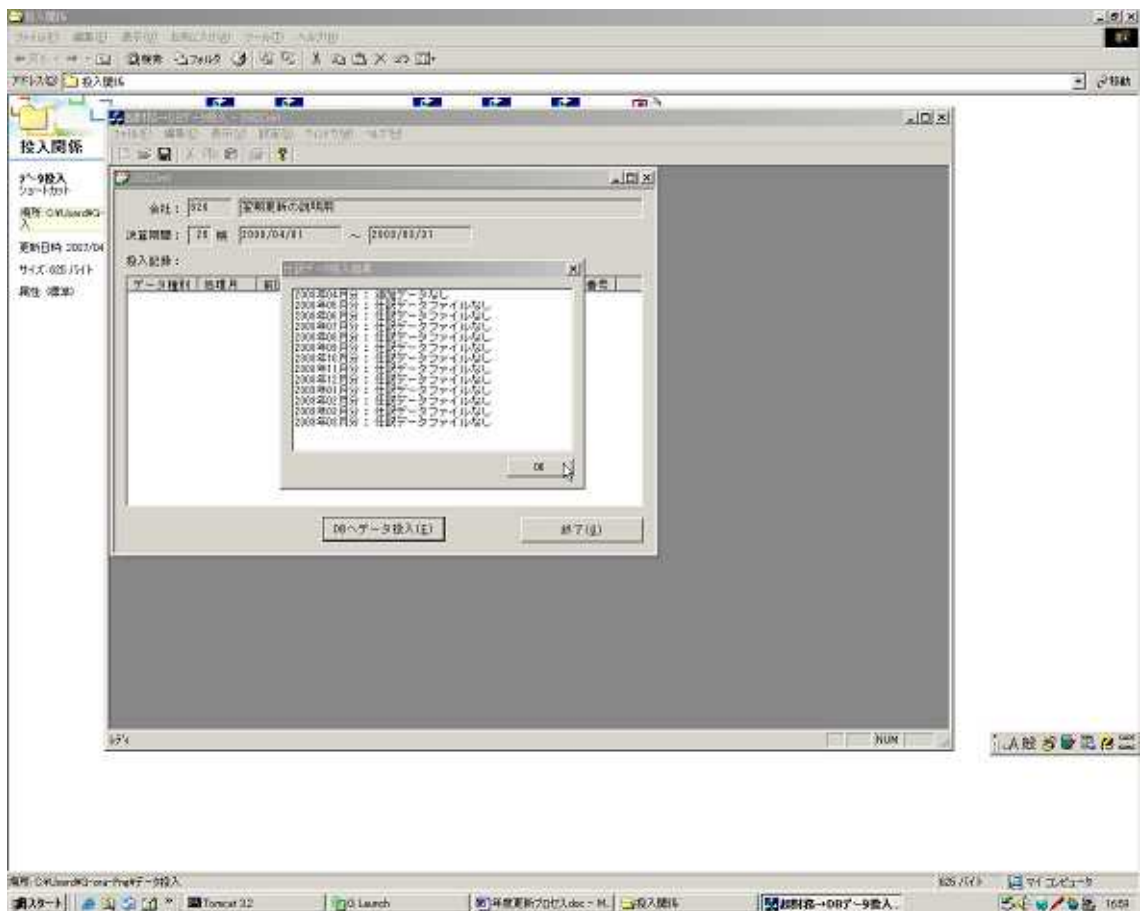




引き続き、投入関係の中のデータ投入を起動させ  
ODBC ドライバ接続については ユーザー名 zaimu パスワード zaimu として  
OK を押します



DBヘデータ投入 を押してください



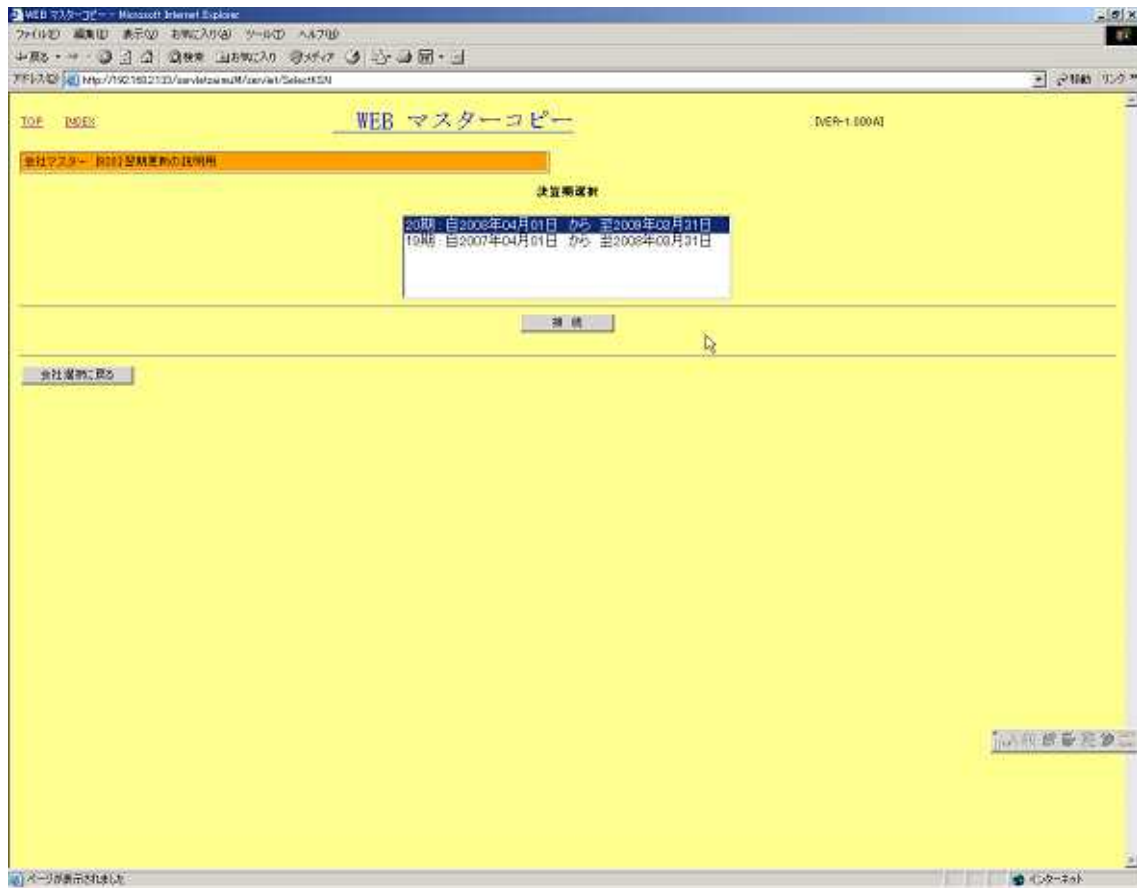
追加データなし で終わりますが、OK を押し、  
さらに、右下の終了も押します。

投入関係のフォルダも 閉じてください

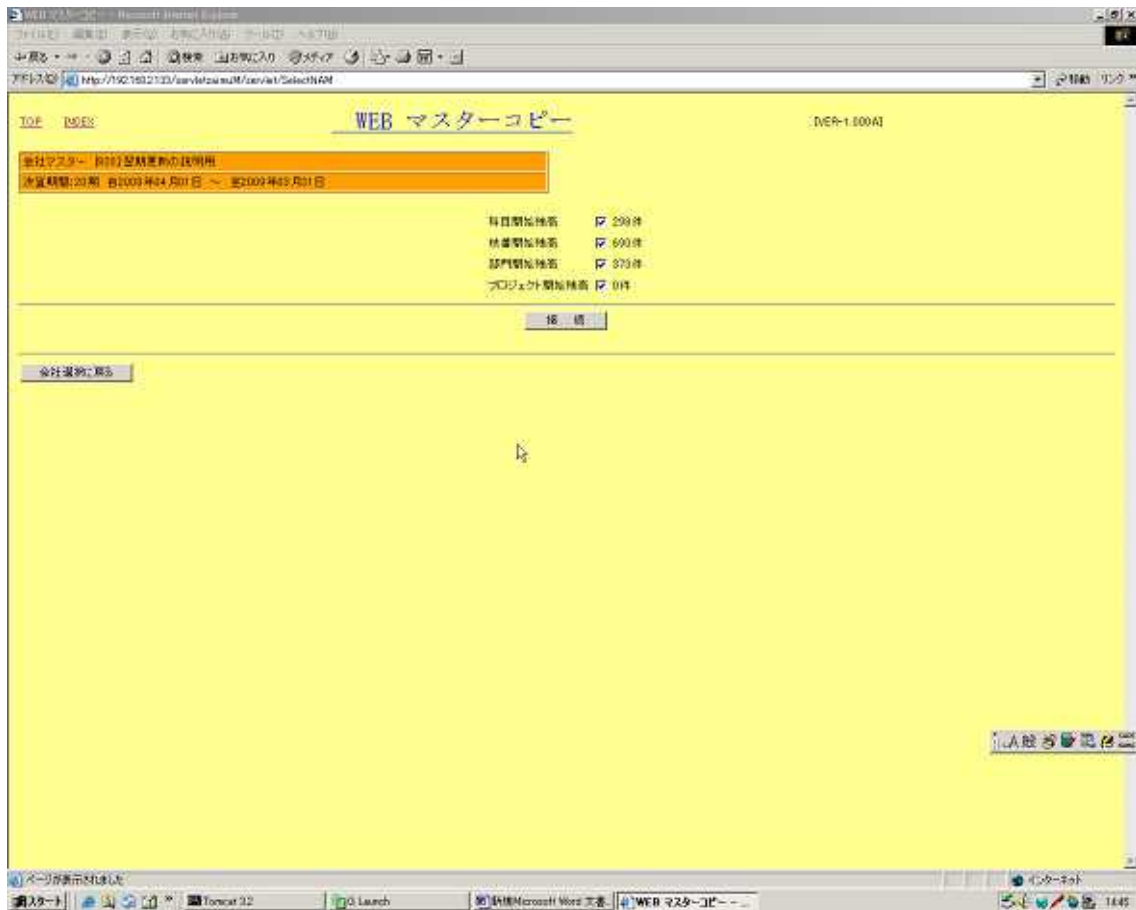
# Web マスタコピー



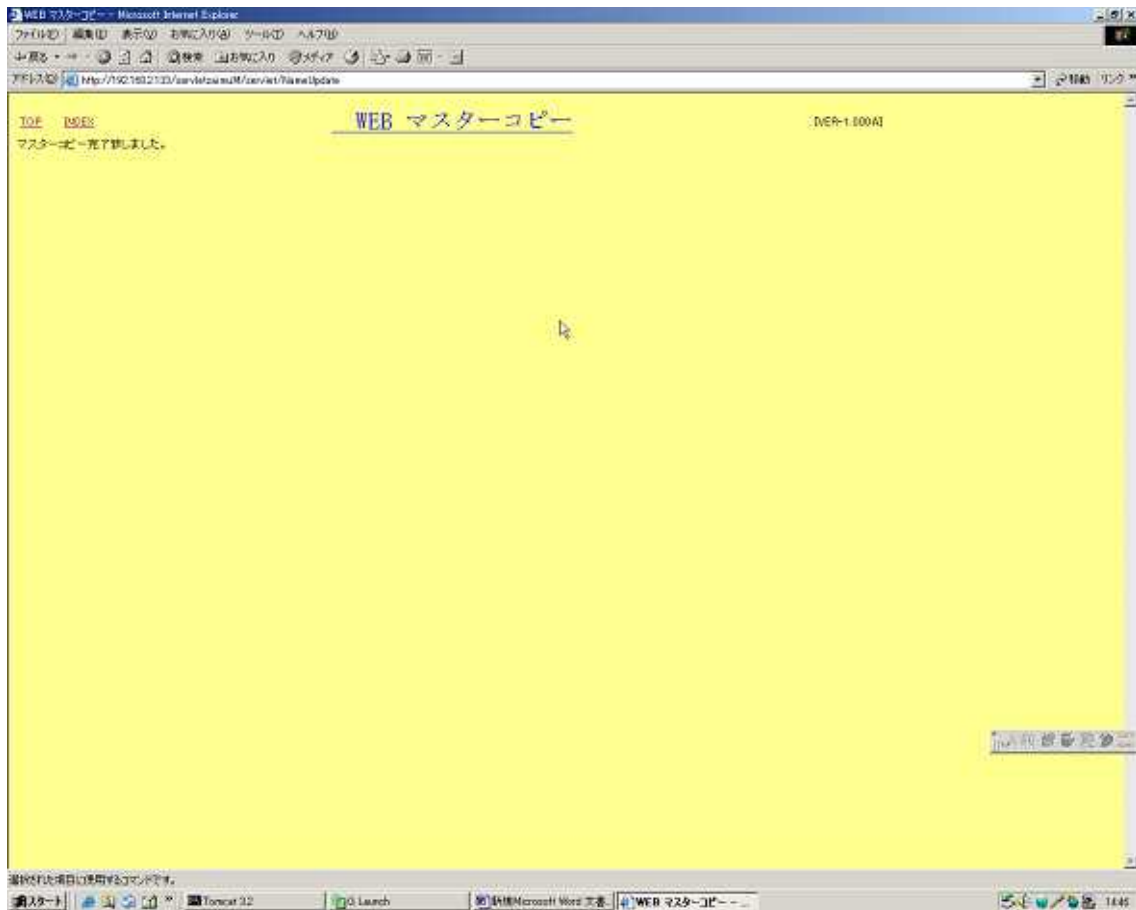
TOP画面のマスター関係を選び、  
会社選択 作業者選択 と進めていき、  
上記の《マスタ登録》のメニューの中から、Web マスタを押しします



新年度の期が選択されている状態のまま、接続を押します



接続を押します



左上に、完了の表示が出ましたら、終了です